

関西福祉大学

校友会会報

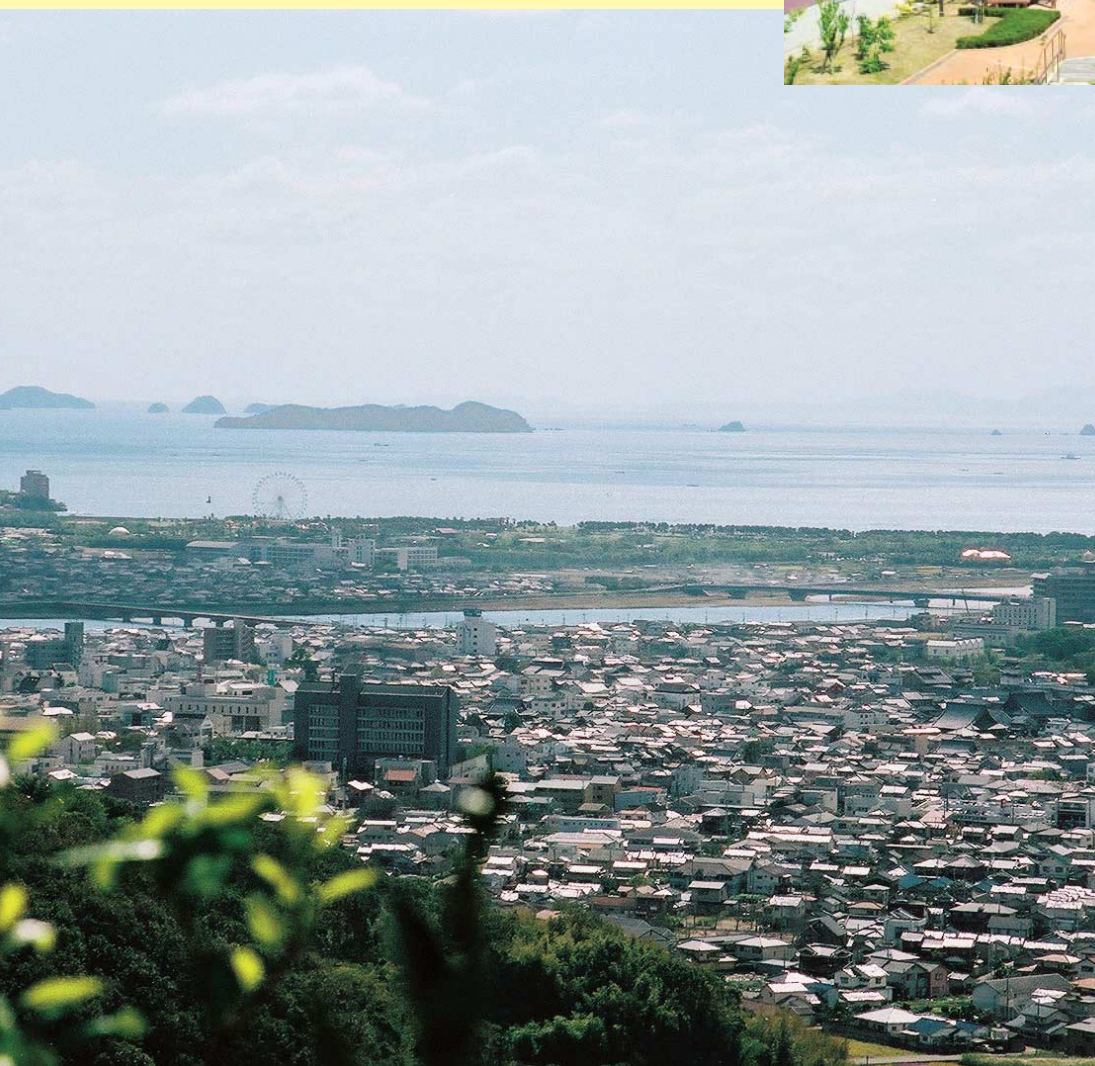
Kansai University of Social Welfare

関西福祉大学校友会

平成17年10月1日



新学舎渡り廊下から中庭を見下ろす



高山から赤穂市内を望む

目次 CONTENTS

校友インタビュー 2・3

平成17年度 役員紹介 4
アンケート結果

平成16年度 事業報告・収支決算 5
平成17年度 事業計画・収支予算

校友会館 建設計画の経過 6
校友会緊急奨学金給付規程(案)

研究室より 丸岡利則 教授 7

校友ネットワーク 8・9

投稿「私と仕事」 10

キャンパスニュース 11・12
校友会ニュース



校友インタビュー

この春卒業した第5期生のみなさんも、各職場でそれぞれの部署に配属されて早くも半年が過ぎました。社会人、職業人としてのさまざまな経験を振り返り、これからの抱負や後輩へのアドバイスなどを語っていただきました。

Question

- ① 担当している業務を簡単に説明してください。
- ② 社会人となっていていかがですか？ 学生の時と意識がどう変わりましたか？
- ③ 業務における今後の抱負について聞かせてください。
- ④ 資格取得等、現在の目標（将来の夢）について聞かせてください。
- ⑤ 休日はどのように過ごしていますか？
- ⑥ 就職活動や学生生活について、後輩へのアドバイスをお願いします。

Q3 今までは業務を覚えることで必死でしたが、これからは基礎業務に加えて、私にしかない支援を考え提

族の大切さを強く感じます。

Q2 重さを感じます。また、自分の力で生活をしているという充実感が出てきました。社会人になつてからの方が独り立ちするといふ自由と大変さ、友達や家族の大切さを強く感じます。

Q1 特別養護老人施設で入居者の身体的支援、精神的支援等の提供を行っています。また入居者の担当となり、担当者会議や個別支援を入居者本人や家族、他職種の方と話し合いながら行っています。



友江奈緒子さん
社会福祉法人 恩賜財団
大阪府済生会
野江特別養護老人ホーム
介護職

Q4 仕事や福祉関係にとごまらず地域の人や友達等幅広く人間関係の輪や趣味の幅を拡げていきたいです。また自分の仕事にいつまでも誇りをもてるように頑張りたいです。

Q5 夜勤明けのまま友達と遊んだり一泊旅行に行ったりして、不定休なりに休みを活用しています。人と会って話すことは何より元気になります。

Q6 学生時代はたくさん遊んでたくさんの人と出会い、自分自身でイロイロ感じてくたさい。何事も迷ったらとりあえずやってみて、興味・関心の幅を拡げていくのもいいと思います。自分の置かれた状況でいかに楽しむか、これが大事だと思います。

Q2 学生のとこと比べて、責任の重みを感じています。たとえば営業先での言であつても、お客様にとって、それは「会社の言葉」となるわけです。

Q1 身体障害者のための車いすの製作・改造・修理・開発などを行っておりま



北条 岳晴さん
橋本義肢製作株式会社
営業（車椅子）課

Q3 お客様の多様なニーズを的確に把握し、それを形にする能力を身につけていきたいと思っています。今はまだ勉強中の身ですが、じっくりお客様と話をし、なぜその人にそれが必要なのかを理解するよう心がけています。

Q4 またこのゼロからのスタートで、当たり前のようないかに理解出来ておりませんが、車いすというのは、それを利用する方々にとっては重要な移動手段であり、ADL・QOLを維持・向上させるものであると理解しています。まずは「車いす」という物への理解をさらに深めていきたいと思います。

Q5 週末は彼女と神戸などドライブにでかけ楽しんでいます。

Q6 就職活動のごで悩んだら、まず就職課に行きましょ。かならず親身になって相談に乗ってくれるはず。



桂樹 知宏さん

兵庫西農業協同組合
赤穂支店 金融渉外

Q1 農協で、主に積立(毎月決まった日に一定額を預ける)集金、保険等の勧誘活動・ジュース販売などを担当しています。

Q2 仕事は、今までになかった目標(フルマ)というものが与えられ、四苦八苦しています。学生時代には大雑把でも気にせずに済んでいた言葉遣いや時間の約束等に気をつけるようになりました。

Q3 業務に限らず、一人の人間として人に頼られるようになった、喜んでいます。



駒田 理恵さん

社団法人
観音寺・三豊郡医師会
高瀬町立西香川病院
介護員、社会福祉士

Q1 認知症・慢性期の患者様がおられる病院で、介護員として介護業務を行っています。今後は介護員と社会福祉士を兼ね、予診も担当していく予定です。

Q2 日々、規則正しい生活をし、健康管理を怠らないようにしています。学生時代も一人暮らしをしていましたが、当時は「食欲がないから」という理由などで、簡単に食事を抜いてしまっていたことがありました。しかし、社会に出ると大学時代のお金を払って教えてもらった「という立場から」「お給料をいただいている」という立場になり、同時に責任がついてくるため、体調不良を理由に欠勤といふことは避けなければならず、食事の栄養面でも気を遣うようになりました。

Q3 本院は今、ユニットケアへの変革期意識改革期にあります。1年前に入職した先輩方や、同期の新人とともに、

でもらえることの出来る人間になりたいという夢があります。人にありがたうと感謝される人間になりたいです。

Q4 日本損害保険協会の主催する損害保険の試験に、先日合格しました。また、農協3級という資格試験があるのそれに向けて、現在勉強中です。

Q5 休日は、図書館で借りてきた本を外したりしています。ストレス解消は居酒屋を利用することが多いです。

Q6 就職活動は、できるだけ多くの事業所へ企業施設などの話を聞き、自分の目で確かめてください。今しか出来ない就職活動を通して視野を広げ、自分の幅を広げてください。このような仕事に就くにせよ、将来の役に立つと思います。

患者様へ家族様の居心地のよい空間を目指しています。介護業務に追われてしまつたのではなく、患者様へ家族様の、ここに寄り添い、なんでも相談していただけるような信頼関係を築いていきたいと考えています。

Q4 格のたの勉強しなくては、社会福祉士として必要な知識については、まだまだ不足しています。これから、法制度について細かいところまでしっかりと勉強し、「この人が必要」と思われる人材になつていきたいと思っています。

Q5 とにかく車を運転することが好きなので、国道のような広い道を走つてみたい、自然あふれる山道を走りたい、と運転でストレスを発散しています。

Q6 就職活動については、目的を立てて動くことで、「いつまでに〇〇をしなければならぬ」「なに計画が立て易くなり、段取りよく就職活動が進んでいくと思えます。就職が内定したら……思いつきり遊んでください!!(他にもすべきことがあるなら、片付けてしまつてから……)



藤島 慶太さん

アースサポート株式会社
福岡支店 営業職

Q1 福岡県のケアマネジャーに弊社訪問入浴を使っていたり、ただけるように営業を行っておりです。

Q2 社会人として戸惑いながらも日々業務に追われている毎日です。学生のときと違って変わったことは、物事を中途半端に終わらせることが少なくなつたように思います。

Q3 「高質・迅速・安心」なサービスを提供し、私の地元である福岡県で地域密着のサービスを行っていたいと思います。



岩城ほのかさん

医療法人達磨会 東加古川病院
医療福祉相談室
ソーシャルワーカー
(精神保健福祉士)

Q1 入院している患者様やご家族の相談を受けたり、初めてこられる方への予診、制度説明、地域で生活されている方への訪問看護などさまざまな業務があります。

また、精神障害者のご家族が主体となつて行われている家族会にも参加しています。

Q2 社会に出て一番変わったことは「できないことはできない」では済まされないということです。ソーシャルワーカーだから知っている当然と思われれることが山ほどあります。

「から丁寧に教えてもらって、今は、まずありませんので、自分で学ぼう」とする意識を常に持ち、日々が勉強だと思っています。

Q3 まだまだ半人前で、一人でできることは少ないですが「この人なら大丈夫だ!!」と患者様だけでなくご家族や看護士などの他職種の方にも言っている。

Q4 福祉企業に就職したこともあり、企業人としての視点から「福祉」をより良いものに変えていきたいと思っています。

Q5 休日は専ら中学校の旧友とつづつたサッカーチームで汗を流しています。

Q6 最近では深流釣りを始め、暇さえあれば釣りに行っています。

Q6 後輩へのアドバイスとしてアルバイトやボランティア、旅行、遊びなどで社会性や社交性を学んでください。社会人になつてから必ず役に立つと思います。

学生のときにもっとしておけばよかったこととして、休学しても一年ほど留學し社会的視野を広げることができればよかったと思います。

ただけるようなソーシャルワーカーになれるよう頑張つて自分を磨いていきたいです。

Q4 相談の窓口であるソーシャルワーカーは病院の顔でもあります。この病院は、良い病院だと言っていただけのような対応ができるようになってきたのです。患者様の立場になって考え、自分自身で制度もよく理解し、良いサービスを提供できればと思っています。

Q5 休日は、家でゆつくりと過ごしたり、車で出かけたりにしています。また、仕事の帰りに、おいしいものを食べに行つてもあれば、バドミントンやバレーなどスポーツをして体を動かす、思い切り笑いストレスを解消しています。学生の頃よりも体に気を遣い無理をせず、早寝早起きで健康的な生活をしていきます。

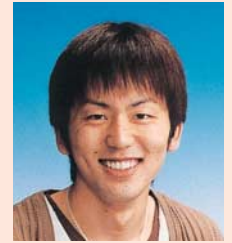
Q6 学生時代は自由な時間がたっぷりあるときです。一日一日を大切に、たくさんの人と接し、いろいろなことを吸収してください。「こんな考え方もあるんだなあ」と世界が広がり、今後につながると思います。そして、生涯の友達と出会い、楽しく素敵な学生生活を送ってください。

平成17年度 役員紹介

～新役員～



5期生 稲室秀一 幹事



5期生 藤井宏昭 理事



5期生 増井奈美子 幹事



5期生 平井理絵 幹事

幹事

1期生 河村 梢
1期生 澤田 友樹
1期生 高屋 吉宏
1期生 徳田 篤
1期生 日和 理奈
1期生 福井 弥生
1期生 梅田 秀喜
2期生 元佐 朋亨
2期生 中塚 和貴
2期生 丸島 知洋

2期生 森本智香子
3期生 青木 雅哉
3期生 岡田 憲明
3期生 門脇 由佳
3期生 庄司 康生
3期生 中岡 愛弓
3期生 宮本 靖子
4期生 石井 公人
4期生 島谷美也子
4期生 中谷 麻里

4期生 森脇 俊一
5期生 稲室 秀一
5期生 平井 理絵
5期生 増井 奈美子
教授 溝端 剛
助教 岩間 文雄
事務局長 小比賀恵一
就職課長 佐藤 春夫
総務課長 星野 光也
就職課長 吉田 修子

※期生50音順(平成17年9月30日現在)

会長(学長)

和田 武夫

副会長(1期生)

藤田 正樹

副会長(学部長)

流王 治郎

理事

1期生 上野山加壽美
1期生 宮地 勇
2期生 長野みどり
2期生 松本 崇
3期生 本田 明典
4期生 木村 泰延
5期生 藤井 宏昭
教授 今岡 典和

会計監事

1期生 水谷 琴江
助教 大山摩希子

校友会事務局

事務局長 佐藤 春夫
会計課長 星野 光也
事務課長 吉田 修子
事務職員 小坂 晋一
事務職員 山本 奈保

アンケート結果 校友会運営について～アンケート調査から～

校友会事務局では、今後の校友会運営上の課題、大学設立10周年行事への校友会としての参加などについて、記述式のアンケート調査を実施(平成16年4月30日)しました。調査対象者は校友会理事・幹事等役員42名。内12名が回答(回答率28.6%)。

調査項目は、①「校友会運営における課題」②「大学設立10周年記念事業(平成18年)に対して校友会としてどのようなことができるか」③「校友会報・ホームページに対する意見」などでした。

会報第5号において、③「会報・ホームページに対する意見」を紹介しました。

今回、会報第6号において、①「校友会運営における課題」②「大学設立10周年記念事業(平成18年)に対して校友会としてどのようなことができるか」について紹介します。

1 校友会運営における課題

1) 新規事業内容の提案

- ・ 図書の寄付
- ・ 就職ガイダンス・国家試験対策講座への講師・アドバイザー
- ・ 卒業生追跡調査
- ・ 卒業生の就職支援
- ・ 同窓会の開催(5年、10年など区切りのよい時期に)
- ・ 総会活性化のための電子投票システムの構築
- ・ 総会における講演会の開催(本学教授、あるいは多方面から募る)

2) その他の検討事項

- ・ 校友会事務局体制の確立
当面、非常勤職員(アルバイト)を1名採用し、将来的には財務見通しとあわせて、局長1名、専任職員1名、非常勤職員1名ぐらいの事務局を確立する
- ・ 役員の昼食代、交通費の支払いは必要ないのではなかろうか→図書の1冊でも寄贈するなど経費の使い方を検討
- ・ 財政プロジェクトチームの設置

長期の収支と財務の試算によるシミュレーションを実施し、終身会員のための通常予算、校友会独自活動のための長期的な事業計画と予算などを立案していく。

・ 会計年度の検討

4月1日～3月31日を総会の時期にあわせ、10月1日～翌年9月30日としてはどうか

・ 校友会規程の整備

クラブ・ゼミ・同期同窓会・公演・コンサート等への助成

・ 卒業生名簿の作成(10期)

・ 地区単位(支部)組織の立ち上げ

2 大学設立10周年記念事業(平成18年)に対して校友会としてどのようなことができるか

・ 地域福祉のための記念学術・文化講演会

・ 著名人講演・職域別研究会・パネルディスカッション

・ 校友会と連携し、記念イベントを選定し、助成をする

・ 各クラブ・サークル(OB含める)の催し物(祝賀演奏・演劇・展示・試合など)

・ 教学内容を高めるための施設・備品寄贈

・ 奨学金制度の創設(家計急変・成績優秀など)

・ 同窓会(同期会)開催

・ 記念事業誌の発行

・ 各地区校友会組織でのボランティア活動の実施

・ イベント開催(チャリティーコンサート、地域別の出展、作業所等福祉バザーなど)

・ 校友会会館の建設

・ 在学生、卒業生が共通で利用できる会館の設立(クラブ・サークルの同窓会への場所提供、宿泊など)

・ 義士祭などの地域イベントに参加

・ 卒業生、在学生、地域が交流できるコミュニティセンター的な独立した建物を建設

・ 図書館の充実(2階を増築し、学習スペース・書庫をつくる)

・ 記念植樹

・ 校友会事務局の開設と支部網の構築の記念セレモニー

・ サテライトキャンパス(大阪等)の設置

平成17年度事業計画・収支予算(案)

平成17年3月13日(日)、平成16年度関西福祉大学校友会第3回理事会および幹事会が開催され、平成17年度事業計画および予算について協議、決定されました。

平成17年度 事業計画

1 会 務

- (1) 総会 1回開催予定 10月、沙風祭時
- (2) 理事会 3回開催予定 事業計画、当初予算、事業報告、決算等
- (3) 幹事会 3回開催予定 事業計画、当初予算、事業報告、決算等
- (4) その他 理事会・幹事会は必要に応じて開催する。

2 正会員に対する活動

- (1) 名簿の発行 当該年卒業生の住所録として発行
- (2) 会報の発行 年2回発行
- (3) ホームページの更新
- (4) 支部の設置検討
- (5) 個別校友会に対する助成活動
- (6) ホームカミングデー

3 母校、在学生に対する支援

- (1) 大学祭、課外活動団体、海外研修等に対する助成
- (2) 大学の行事・事業への協賛
- (3) 新入生・卒業生に対する学章・校友会員章贈呈等
- (4) 奨学金制度、表彰制度等
- 4 事務局整備 備品、消耗品等の購入
- 5 その他
 - (1) 会員の慶弔及び親睦 見舞い、弔電、供花等及び懇親会
 - (2) 広報活動 校友会のPR検討等
 - (3) 研究会 研究会開催支援等
 - (4) 中・長期的課題 開学10周年事業及び校友会館等
 - (5) その他

平成17年度 収支予算

1. 収入の部

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

科 目	本年度予算	前年度予算	差 異	備 考
1. 会費収入	33,290,000	33,440,000	△150,000	◎平成17年度収入額 ・在学生 1,076名 (1年250名、2年280名、 3年272名、4年274名) 1076名×30,000円=32,280,000円 ・編入生 9名 (3年4名、4年5名) 4名×60,000円=240,000円 5名×60,000円=300,000円 ・教職員 47名 47名×10,000円=470,000円
2. 前年度繰越金	19,518,407	21,086,107	△1,567,700	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 雑収入 (1) 受取利息	28,196 (28,196)	17,000 (17,000)	11,196 (11,196)	中国銀行 赤穂支店 普通・定期預金
合 計	52,836,603	54,543,107	△1,706,504	

2. 支出の部

科 目	本年度予算	前年度予算	差 異	備 考
1. 事務費	6,650,000	4,850,000	1,800,000	
(1) 人件費	(2,200,000)	(0)	(2,200,000)	事務局非常勤職員雇用
(2) 消耗品費	(200,000)	(200,000)	(0)	事務用品等
(3) 旅費交通費	(800,000)	(1,000,000)	(△200,000)	理事会・幹事会等役員出張費他
(4) 印刷製本費	(1,500,000)	(1,000,000)	(500,000)	校友会資料印刷、名簿・会報(年2回)作成等
(5) 報酬手数料	(100,000)	(500,000)	(△400,000)	データ入力等アルバイト代
(6) 通信費	(900,000)	(700,000)	(200,000)	校友会資料、会報、名簿等送付料
(7) 会議費	(300,000)	(500,000)	(△200,000)	理事会・幹事会等会議費用
(8) 渉外費	(100,000)	(300,000)	(△200,000)	他大学等調査経費・粗品・謝礼
(9) 備品費	(400,000)	(500,000)	(△100,000)	備品購入等
(10) 慶弔費	(50,000)	(50,000)	(0)	校友会員見舞金
(11) 雑費	(100,000)	(100,000)	(0)	
2. 事業費	4,000,000	4,000,000	0	ホームページ更新、各種校友会活動等、 各種助成(大学祭、課外活動、個別校友会等)、ホームカミングデー、大学の行事事業の協賛、広報活動、研究会開催、新入生校章代、卒業生記念品(バッチ代)等
3. 予備費	2,000,000	2,000,000	0	
4. 校友会館建設積立金	40,000,000	30,000,000	10,000,000	
5. 次年度繰越金	186,603	13,693,107	△13,506,504	
合 計	52,836,603	54,543,107	△1,706,504	

3. 各種積立金

積 立 年 度	校友会館建設積立金	開学10周年記念事業積立金
平 成 17 年 度	40,000,000円	
合 計	210,000,000円	10,000,000円

平成16年度事業報告・収支決算(案)

平成17年6月26日(日)、平成17年度関西福祉大学校友会第1回理事会および幹事会が開催され、平成16年度事業報告および収支決算について報告、承認されました。

平成16年度 事業報告

1 会 務

- (1) 総会 平成16年10月24日(日)
平成15年度事業報告及び収支決算・監査報告
平成16年度事業計画及び収支予算、会則の一部改正、役員改選
- (2) 理事会・幹事会 第1回 平成16年6月27日(日)
平成15年度事業報告及び収支決算・監査報告、慶市規程制定
役員改選(理事・幹事の指名報告)

- 第2回 平成16年10月24日(日)
総会提出議案について
- 第3回 平成17年3月13日(日)
平成17年度事業計画・収支予算

2 正会員に対する活動

- (1) 名簿の発行 当該年卒業生の住所録として発行
- (2) 会報の発行 年1回発行
- (3) ホームページの更新検討
- (4) 支部の設置検討
- 3 母校、在学生に対する支援
 - (1) 課外活動団体に対する助成
 - (2) 新入生・卒業生に対する学章・校友会員章贈呈
 - (3) プラズマテレビ寄贈(新学舎落成記念)
 - (4) 奨学金制度の検討
- 4 事務局整備 備品、消耗品等の購入
- 5 その他
 - 中・長期的課題

大学設立10周年事業及び校友会館等(記念事業のプロジェクトの立ち上げ)

平成16年度 収支決算

1. 収入の部

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1. 会費収入	33,440,000	33,420,000	△20,000	◎平成16年度収入 ・在学生 1,070名 ・編入生 10名 ・教職員 45名 ・OB(校友会費未納者)5名
2. 前年度繰越金	21,086,107	21,086,107	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 雑収入 (1) 受取利息 (2) 雑収入	17,000 (17,000) (0)	33,533 (33,533) (0)	16,533 (16,533) (0)	◎中国銀行 赤穂支店 普通・定期預金
合 計	54,543,107	54,539,640	△3,467	

2. 支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1. 事務費	4,850,000	2,516,648	△2,333,352	
(1) 人件費	(0)	(800,659)	(800,659)	校友会職員人件費(16年11月-17年3月)
(2) 消耗品費	(200,000)	(290,992)	(90,992)	事務用品等
(3) 旅費交通費	(1,000,000)	(221,752)	(△778,248)	理事会・幹事会等役員出張費他
(4) 印刷製本費	(1,000,000)	(694,172)	(△305,828)	校友会資料印刷、会報等作成費
(5) 報酬手数料	(500,000)	(0)	(△500,000)	
(6) 通信費	(700,000)	(271,390)	(△428,610)	資料・会報等送料
(7) 会議費	(500,000)	(74,820)	(△425,180)	理事会・幹事会等会議費
(8) 渉外費	(300,000)	(99,970)	(△200,030)	他大学調査経費
(9) 備品費	(500,000)	(0)	(△500,000)	
(10) 慶弔費	(50,000)	(0)	(△50,000)	
(11) 雑費	(100,000)	(62,893)	(△37,107)	手数料等
2. 事業費	4,000,000	725,800	△3,274,200	プラズマテレビ寄贈(新学舎落成記念)
3. 予備費	2,000,000	0	△2,000,000	
4. 校友会館建設積立金	30,000,000	40,000,000	10,000,000	(下記参照)
5. 10周年記念事業積立金	0	0	0	(下記参照)
6. 次年度繰越金	13,693,107	11,297,192	△2,395,915	次年度繰越金内訳: 普通預金 9,708,745円 決済用定期 1,011,932円 郵便振替口座 259,530円 小口現金 316,985円
合 計	54,543,107	54,539,640	△3,467	

3. 各種積立金

積 立 年 度	校友会館建設積立金	開学10周年記念事業積立金
平 成 13 年 度	70,000,000円	
平 成 14 年 度	30,000,000円	
平 成 15 年 度	30,000,000円	10,000,000円
平 成 16 年 度	40,000,000円	
合 計	170,000,000円	10,000,000円

校友会館建設計画の経過

会報第5号(平成17年6月1日発行)で既報のとおり、校友会では校友会館の建設に向けた取り組みを進めています。校友会館は、私達会員の拠点として、また安らぎの場として、ぜひとも建設を進めたいと思います。

理事会・幹事会の経過

◎平成15年度

【第3回理事会・幹事会】平成16年3月14日
校友会館、大学設立10周年事業等をすすめるプロジェクトの立ち上げについての提案があり、承認される。

◎平成16年度

【第1回理事会・幹事会】平成16年6月27日
記念事業についてはプロジェクトで検討することが承認された。

事業計画プロジェクト(設立趣旨、メンバーの紹介)の報告

【第2回理事会・幹事会】平成16年10月24日

事業計画プロジェクトの報告
校友会館の建設計画(案)の提案があり承認される。

(1) 建設計画

大学キャンパスリニューアル2期計画(厚生棟増設等)に校友会事務局等を組み込んで建設し、卒業生および在学が共有できる校友会館とする。

(2) 設備、環境

1) 校友会独自の機能

ア 校友会事務局

イ 応接室

2) 在学生との共有スペース

ア 多目的ホール(会議室)

イ 談話スペース

ウ 和室

(3) 予算 平成16年度までの積立金額

1億7千万円

平成17年度分を加えた積立金(2億円)

を関西光学学園へ寄付し、建設費とする。

【第3回理事会・幹事会】平成17年3月13日

校友会建設計画の進捗状況について報告

建設場所は体育館北側、2階建て、4月図面完成、7月着工(案)の紹介

◎平成17年度

【第1回理事会・幹事会】平成17年6月26日

建設場所は、北玄関 東寄り(円形広場から見通せるところ)に変更

2階建て、バルコニー含め約800㎡

プロジェクト会議の経過

◎平成16年度

【第1回プロジェクト会議】平成16年6月18日

事業計画プロジェクト発定

校友会役員11名(卒業生7名、職員4名)

どのような会館が校友会員にとって望ましいか検討

他大学の状況を調査し、参考とする。

【第2回プロジェクト会議】平成16年7月23日

他大学校友会調査結果報告をもとに、校友会館の機能・維持管理について検討(京都産業大学、佛教大学、神戸国際大学、流通科学大学)

【第3回プロジェクト会議】平成16年8月20日

建設計画、設備環境、他設備の設置について案が示された。

【第6回プロジェクト会議】平成17年3月9日

配置図、立面図、平面図の案および建設場所

について意見交換

建設場所は、体育館北側。2階建。総工費は2億円

【第7回プロジェクト会議】平成17年3月13日

間取りについての意見交換

◎平成17年度

【第1回プロジェクト会議】平成17年6月13日

間取りについての意見交換

建設場所は北玄関東寄り

【第2回プロジェクト会議】平成17年7月19日

現時点でのプランの確認と建設にかかる基本的事項について、校友会理事会・幹事会等で検討合意のうえで学校法人と覚書を交わす案で合意を得る。

校友会緊急奨学金給付規程(案)が出来上がりました

平成16年4月以来、10周年記念プロジェクト及び理事会・幹事会において検討が重ねられてきた校友会の奨学金給付規程(案)が出来上がりました。今秋の理事会・幹事会及び総会における審議、承認を経て平成18年4月から施行の運びとなり、関西福祉大学の奨学金制度が一層充実することとなりました。

本学内外の奨学金制度には、現在、次のようなものがあります。

1 奨学意欲の強い学生を励ます特待生制度

2 経済的理由により修学困難な学生を支援する大学奨学金

3 家計の急変に見舞われた学生を支援する緊急奨学金(教育後援会)

4 仕送りの遅延などにより一時的に生活費が必要な場合の短期貸付安心サポート

5 社会福祉士の資格取得を奨励する制度

6 日本学生支援機構、地方公共団体、各種団体などによる奨学金

平成18年4月1日から、教育後援会が、1〜3年次生の緊急奨学金を受け持ち、校友会が4年次生の緊急奨学金を受け持つこととなります。

関西福祉大学校友会緊急奨学金給付規程(案)

(主旨)

第3条 この規程は、関西福祉大学校友会会則第3条及び第4条の規定に則り、在学生の修学と学生生活の向上を図り、母校の発展に寄与することを旨とする。

(目的)

第2条 この規程は、本学の4年次の学生で、卒業する能力と勉学の意欲を持ちながら、家計の急変や災害などにより学費の支弁に支障を来し、困難な状況に立ち至った学生に対し、緊急に奨学金を給付し、修学の継続と学業の成就を支援することを目的とする。

(定義)

第3条 この規程により給付する奨学金を関西福祉大学校友会緊急奨学金(以下「校友会奨学金」といふ。)と称し、奨学金の給付を受ける者を関西福祉大学校友会緊急奨学金学生(以下「校友会奨学金学生」といふ。)と称する。

(資格)

第4条 校友会奨学金の給付を受けることができる者は、本学の4年次の学生で、本人の学費を主として負担している者の死亡、病臥、失業及び事業の倒産等により家計が急変し、又は本人あるいは本人の学費を主として負担している者が地震、風水害などの災害を被り若しくは不慮の事故に遭遇する等により、卒業を控えて緊急に経済的支援が必要であると認められる者とする。

(募集及び採用)

第5条 校友会奨学金は各学期の期初に募集する。ただし、緊急に支援を必要とする場合は、当該学期を通して随時申請を受け付ける。

2 学生からの応募があったときは、ゼミ担当教員等関係教員及び学生委員会の審査を経

て、校友会会長が採用を決定する。

3 採用は学期ごとに行うが、前期に採用された者が後期に再度採用されることを妨げない。

4 採用を決定したときは、校友会会長は速やかに理事会・幹事会に報告するものとする。

(給付額)

第6条 校友会奨学金の給付額は、採用した学期の授業料の不足額に相当する額とする。

(特別な運用)

第7条 第4条に列示した事態に準ずる緊急な事態が生じた場合には、第4条、第5条及び第6条の規定にかかわらず、校友会会長は、校友会奨学金の資格並びに募集及び採用、校友会奨学金の給付額等について、特別な運用を図ることができる。ただし、特別な運用は予算の範囲内とし、特別な運用を図ったときは、速やかに理事会・幹事会に報告するものとする。

(出願)

第8条 校友会奨学金の給付を希望する者は、所定の校友会奨学金願書に必要書類を添えて、教学課まで提出しなければならない。

(併用給付の不可)

第9条 関西福祉大学授業料減免規程に規定する減免との併用は認めない。

(資格の喪失)

第10条 校友会奨学金が次の各項の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

(1) 休学・退学又は除籍となったとき

(2) 本学規則で定めるところにより懲戒処分を受けたとき

(3) 第8条の規定により提出した書類に虚偽の記載があったとき

(4) その他校友会奨学金としてふさわしくないと認められる事由が生じたとき

(給付の打ち切り、返還)

第11条 第10条の規定により校友会奨学金が資格を喪失したときは、校友会奨学金の給付は打ち切られる。

2 資格を喪失した校友会奨学金学生は当該年度内に給付された校友会奨学金を当該年度内に返還しなければならない。ただし、休学による資格喪失者については、休学期間中は返還を延伸する。

(事務所の所掌)

第12条 この規程に関する事務は、教学課が所掌する。ただし、給付に関する事項は、総務課が所掌する。

(施行細則)

第13条 この規程に定めるもののほか、校友会奨学金の給付に関し必要な事項は、別に定める。

(規程の改廃)

第14条 この規程の改廃は、学生委員会及び校友会理事会・幹事会の議を経て、校友会会長が行う。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

「現代の福祉の動向について」 危機管理としての社会福祉



丸岡 利則 教授

して社会福祉は本来「予防」という概念を持ち合わせていなければならないはずであるが、その後も進展を重ねることを放置し、十分にリアリティを受け止めることができなかった。現実での危機管理もまた同様に社会福祉全般にわたる日常業務のなかに埋没し、危機的な状況に対応できる確固たる体制を構築するまでには至っていない。

例えば福祉事務所のような公的機関や老人ホームのような社会福祉施設まで含めて

現代社会における社会福祉の課題の一つとしては、地震や自然災害、またJ R福知山線脱線事故などの対応についての「危機管理」に求められる。社会福祉制度・政策の成立の歴史を遡ると、それは危機的な状況に陥った人々への支援や救援を行うことがその出発点であった。しかし、このような危機状況においてこそ社会福祉（社会保障）が必要となるという原点がもはや機能しなくなり、昨年の災害でもJ Rの事故でも、市民や学生などのボランティアが活躍した反面、第一線の社会福祉関係者は何ができただろうか。まさに社会福祉の専門家がどのように納得のいく活動ができたのかが問われている。

危機管理は、リスク・マネジメント（予期できる危機対処管理システム）とクライシス・マネジメント（予期しない危機対処管理システム）との区別がある。それに対

「組織」として見た場合に、それらの組織運営における危機管理体制の確立が緊急の課題である。そしてかつ、課題があるというだけでは済まされない。本来の意味での社会福祉の危機管理のための処方箋が必要となってくる。社会福祉学という学問が単に認識科学ではなく、問題解決型科学として、危機管理への組織活動のあり方が今問われている。社会福祉関係者が危機に對して業務運営のなかで地域との連携までも含めた機関・組織としての緊急事態への的確な判断基準を設定し、新たな地域福祉の相互支援という枠組みを構想しておかなければならないだろう。

具体的には、危機管理体制の確立には、組織内部の体制づくりとそれを超え出た地域ネットワークとの救援・支援システムの

確立が重要である。大災害においては、一つの老人ホームの組織だけで対処できるものでもなく、老人ホーム内での安全体制・危機管理が機能できるようなシステム（管理者とその上部組織や下部組織の運営上の問題）の上に、さらには地域に密着した関係機関や地域住民との情報共有体制、相互支援システムなどリスク・マネジメントについての危機回避を議論する場が必要であろう。

さらにリスク・マネジメントだけではなく、非常事態が起きて組織が壊滅状態にあったときに、何をどうすればいいのかというクライシス・マネジメントも含めたシステムづくりを今こそ議論の場に持ち込んで、社会福祉関係機関全体としてそれらのサポート体制をまとめ上げる努力をしなければならないだろう。それには、社会福祉だけに限定できるものでもなく、医療問題や環境問題としてのマネジメントや公的支援と民間支援ネットワークなど多くの関係諸機関の関係団体との話し合いの場が必要となってくる。また、それ以上に、地域住民との日常的な相互交流のなかでそれぞれの社会福祉機関が危機管理場面でそれぞれが果たす役割を再確認することも重要な課題である。

校友 ネットワーク

さまざまな分野で活躍する1～4期生からの
近況報告が寄せられました。
それぞれの日々の業務における苦労話や
仕事に対する熱い思いなどが伝わってきます。



城山 大さん
(1期生)
株式会社宝塚森屋
三重営業所

本気でぶつかって

関西福祉大学を卒業して4年が経ちました。卒業後、地元の特別養護老人ホームへ就職し相談員をしていました。そこで人間と人間との繋がりの大切さ、相手の気持ちや考えを実物大の大ききでキャッチする大切さを学びました。また、当時の上司には「常に物事に対して疑問をもちなさい。人に言われたことだけをしていては成長しない。」ということを徹底的に指導していただきました。それが今日の自分にとって大きな財産になっています。

現在、高校時代の先輩から一緒に仕事をしないかと誘いを受け、福祉

とは全く関係のない食品関係の営業をしています。分野は違いますが、福祉で学んだことはどの分野でも必ず自分の力になります。大切なことは何事に対しても本気でぶつかっていくということ、勉強だけでなく家族との関係、友人との関係、アルバイト、クラブ等何でもいので本気でぶつかること。そうすればそこからで上がる人間関係や物事に対する考えは必ず本物になると思います。特に、人間関係は自分の人生に大きな影響を与えてくれる財産のひとつです。その財産を大事に育てながら、少しずつ大きくしていけるよう、これからも何事も本気でぶつかって行きたいと思っています。こう思えるようになったのも、大学4年間の生活があったからです。この4年間で得た財産を大切に、これからも人と人との繋がりを大きくして行きたいと思っています。



胸枝 真也さん
(1期生)
医療法人つくし会病院
介護老人保健施設 はなつくし
支援相談員

胸を張って言える仕事

大学を卒業して、4年が過ぎました。皆さん、お元気ですか？

私は、一年前より支援相談員として勤務しています。

それまでは、介護職に携わり、教科書通りの介護方法では何一つ解決しないことに驚き、その人一人ひとりに合った介護を見出す必要性を知りました。また、介護に携わっているにも関わらず、資格を持っていない自分に憤りを感じ、今年「介護福祉士」を取得しました。取得前は、面談に来られた方や入所中の御家族から、介護方法について尋ねられ説明するもの、「介護の資格のない方に説明を受

けても…」等、言われたこともありましたが、経験を積んだ証になるのか、取得後は特にそのようなことは言われなくなりました。やはり、資格を持つということは大切なことだと、しみじみ思います。

介護に携わっているときは、主に利用者様との接点が多く、時に励まし、時には励まされ、もちつもたれつの関係でした。相談員になってからは、御家族と接する機会が増えましたが、逆に利用者様と接する時間が少なくなっているように思え、少しでも側にいたい、もつと利用者様と関わりを持ちたいという気持ちからまた介護職に戻してもらったことにしました。自分が決めたことなので後悔はしていません。

自分の子供が将来大きくなり物心ついたときに、自分の仕事を胸を張って言えるよう努力し続けたいと思います。



丸菱由美子さん
(2期生)
社会福祉法人恩賜財団
済生会支部福岡県済生会
特別養護老人ホームむさし苑 介護員

一日一度は笑ってほしい

私は、福岡県内の特別養護老人ホームで介護員として勤務しています。就職して早いもので4年目になります。

就職したばかりの頃は、一日の業務内容の流れ、入居者の状況を把握

することで精一杯でした。最近は、自分の担当である4名の入居者の方々のケアプランの作成、実施、評価に責任をもって取り組んでいます。御本人や御家族の希望を聞き、どういった介護を行っていくのが一番良いのか介護上の問題点に対して適切なサービスを行っていくよう、いろいろな方法を試す余裕もできてきました。残

存能力に気が付き、それを活かした介護を行い、今までできなかったことができるようになっていく姿をみると、やっというて良かったと感じます。

日常業務に加え、毎月の行事の準備など毎日忙しく過していますが、「一日一度は笑ってほしい」という思いで仕事をしています。おいしく食事をしていただいたり、気持ち良く入浴していただくのと同様に、入居者の皆さんとお話をし、レクリエーションをする時間も大事にしたいと思っています。

来年1月には自分自身のスキルアップのため、介護福祉士の国家試験を受験するつもりです。働きながらの学習はなかなか大変です。大学時代、社会福祉士受験時に勉強したことも忘れていくところがありますが、改めて勉強し、日々の仕事に活かして、毎日安心して生活していただけるように援助していきたいと思っています。



笠松久美子さん
(3期生)

社会福祉法人あかりの家
知的障害者更生施設 あかりの家
生活支援員

自閉症支援のプロ

私は、自閉症の方を中心とした「知的障害者更生施設あかりの家」で生活支援員として働いています。自閉症といつと、関係作りが難しく環境作りも大切です。しかし、あかりの家ではどんなに重度でも強い行動障害があってもみんな働いています。ですから、あかりの家では、自閉症支援の「プロ」という言葉がよく出てきます。

1年目は業務を覚え利用者の理解に必死で、「この1年で私は何ができたのだろうか。」と悩みました。2年目はいくらか周りも見え、支援の手こたえも感じ始めました。しかし、「私は本当にこの職場で役に立っているのだろうか。私でいいのだろうか。」など悩みは尽きませんでした。



垣口 優子さん
(3期生)

聖隷福祉事業団
花屋敷せいれんの里
花屋敷栄光園 介護職

人の最期の場にかかわって

私は、特別養護老人ホームで介護員として働いています。当初、高齢者分野ではなく児童の分野に興味があり、就職も漠然とそちらの方向を考えていました。そんな私が、高齢者の分野で働きたいと思ったのは、大学3回生の冬、バイトで行っていたティサービスでの経験とそこで出会った職員の方の一言に感銘を受けたからです。「成長や変化が見える児童の分野の仕事もやりがいがあるけど、人の最期の生活の場に関わることができると、高齢者の分野の仕事もとてもやりがいがあると思うよ。」つまり、年を重ねる毎に新しい事を吸収していき、

私には、このあかりの家で働きたいという思いが強くあります。毎日が「大変」の連続で、利用者と真剣に向き合う「しんどさ」もあります。しかし、学ぶことは多く、利用者の中に私という存在が少しずつ増えてきていると感じることはとても嬉しいことです。例えば、今まで目が合わなかった利用者が何かある度に私の方をじっと見るようになったり、「笠松さん」「笠松さんと寝ようね」と名前をよく呼んでくれるようになったりしました。また、行動障害が激しい女性と帽子を買いに行つて、鏡の前で「かわいいよ」と褒めること「ソツとして」「女の子」と言ってくれたことなど、私にとっては宝物のような体験も少なくありません。「さをり織り班」の主任担当として大型店のバザールも自分なりに頑張りました。

私のとりえは、笑顔と「元気」です。本当に良い応援が出来るようになり、私がいてよかったと思ってもらえるように頑張っていきたいと思っています！

成長を共に喜べる仕事と違って、高齢者は年を重ねる毎に精神的・身体的にレベルダウンしていき、最後は死を迎えます。実際、デイサービスでバイトしている間も、数名の方達が亡くなられました。何を目標として、何を喜びとして働いていけばいいのかわからなかったのですが、この一言で私は介護職に就きたいと思うようになったのです。

今働いて3年目になりますが、何人もの方達が亡くなりました。そのたびに、オムツ交換や食事介助等、日々の業務に追われ、この方にとって一番良い介護を行い見送ることができたのだろうかと考えてしまいます。最期の時、後悔なく見送ることができるよう、日々業務をこなすだけでなく、入居者の方と向き合い、一緒に過ごす時間を大切にしながら仕事に取り組んで行きたいと思っています。



末道 大作さん
(3期生)

学校法人東洋学園
東洋学園高等専修学校
常勤講師

生徒と共に

教壇に立ち福祉を教え始めて今年度で3年目になります。現在は、週14時間の教科授業と4時間のH.R.総合学習を担当しています。また、2年3組42人個性豊かな生徒ばかりです。の担任とソフトテニス部顧問、卓球部副顧問をしています。ソフトテニス部は今年二年連続で全国高等学校定期制通信制ソフトテニス大会に出場しました。

職場では「誰にも負けない教育活動 授業をしている」との意識を持って日々を送りたいのですが、教えるべきことが上手く思い浮かばないことや指導力の無さを感じて、どうすればよいかわからず不安で悩むこと



岡本 華さん
(4期生)

神戸赤十字病院
医療社会事業部医療社会事業係
訪問看護ステーション 社会福祉士

リスクの視点

神戸赤十字病院に就職して2年目を迎えました。

人手不足のため、1年目は配属先である福祉と医療の相談室の医療社会事業係と、医療現場で起るインシデントアクションシートを扱う医療安全管理室の2部署を掛け持ちしました。

医療安全の仕事で得た「常に物事を「リスクの視点」で見える、聞く、考える、行動する姿勢」は、医療現場だけでなく実生活にも生かせるものです。よく一部の者しか携われない病院業務の裏舞台の中枢である、医療安全の仕事に関わったことは貴重な経験となりました。

2年目の今は、相談室と訪問看護ステーション(以下訪看ST)の掛け持ちです。しかし、訪看STは副業のはずでしたが、訪問に出かけ無人になるため私の机を訪看STに移動し、留守番からケアマネジャー(以下ケアマネ)代行としての相談業

もあります。そんな中で生徒の落ち込んでる姿を見て「この子たちの担任、顧問は私じゃない」と自分を励ましたり、また生徒の一生懸命な姿や笑顔に接して人を育てる仕事についていることの幸せを感じたりで、生徒たちから力を貰い不安な気持ちも払拭しています。

勤務時間外では、大学の友人とよく会って共通の思い出に楽しく過ごしています。同じ部屋に一緒に住んで生活をしているのではないかと錯覚をしてみようくらいです。実は掲載されている写真も学生時代の友人に撮ってもらいました。

仕事の中であれプライベートな時間帯であれ、笑って泣いて、叫んで、考えて、あつという間に過ぎた大学4年間を思い出すことがあります。10代最後の数年を過ごした大切な時期です。本当に大切なものをたくさん得ることができました。これから、大学での経験をもとに前に進みたいと思います。

事務仕事を手一手に引き受けているため、今や本業になりつつあります。

訪看STでの私の役割は、社会福祉士の立場から看護師(ケアマネ業務とは違った視点)でのケース分析や看護師に対する助言を担っています。

最近の事例では、知的障害で「こだわり行動」のある糖尿病患者様に訪問看護が行うことになったのですが、知的障害者と関わりがなかった看護師ばかりで20年以上のベテラン揃い、「こだわり行動」を見抜かず矯正し続けたがために、開始2日目で行き詰まりました。そこでカフアレンスで問題点の洗い出しをした結果「こだわり行動」であると判断し、看護師には「こだわり行動」を矯正しないこと、患者様にとって訪問看護が入ること自体が新しい環境となり受け入れに時間を要するということを理解してもらいました。

この事例で役立ったのは知的障害者授産施設での実習とその後もカフアレンスで看護師の知的障害者に関する知識と経験不足を事前に把握できなかったことが反省点として挙げられます。

介護保険制度下では、ケアマネでないために関われない部分もあり歯痒い思いをすることがありますが、今の仕事が楽しくてずっと続けて行きたいと思っています。



私と仕事



山崎恵美子 さん(1期生)
社会福祉法人 幸 介護老人福祉施設 なごみの里 生活相談員

原 和 範 さん(1期生)
岡山県真庭市役所 市民生活部 市民税課 主事

地域づくり、まちづくり

私は大学卒業後、生まれ育った岡山県北房町の教育委員会の職員として仕事をしてきました。実家の近くで働くようになったのは、親の意向が強かったこともありですが、大学時代に「暮らしを経験し、故郷で就職したい」という気持ちで次第に強くなったというのが本当のところなんです。

昔の担任の先生や同級生に仕事のなかで再会したり、子供のころ可愛がってもらいお世話になった人を、やはり仕事のなかでお客様に迎えるなど、昔の人間関係に助けられて仕事をさせてもらったことがあります。知り合いのいない大都会で、一人ぼっちで生活を始めるのとは、大きな相違だと思っています。

「公務員試験は難しいんじゃないの」と聞かれます。私は大学のビデオ講座を受講し、講座と併行して、「これかな」という参考書を求め、やり通し

私らしく挑む

関西福祉大学を卒業して4年が過ぎました。

現在、私は地元姫路市にある介護老人福祉施設なごみの里で生活相談員として働いています。主としてショートステイを担当しており、毎日新規ご利用者様の訪問、契約、ケアマネジャーとの調整、ご家族の相談受付、苦情処理といった業務を担当しています。

相談員として2年が経ち、ようやく仕事の流れも理解でき、日々の業務の中にも自分らしさを出せるようになってきたように思います。

なごみの里は開設3年目の施設です。私は開設時、介護職員として勤務をしていました。

開設当時は、私自身が「こんな施設にしたい」という「私本位」の大きな期待に夢を膨らませてのスタートであったのと同じく、全スタッフの「自分なり」の思いがこえて反発材料と

なりました。これで二次試験は求められたレベルをクリアしたように思います。

二次試験は、作文と面接が重視されました。ところが作文の題が「地域づくり、まちづくり」でありこれは私の卒論のテーマと重なる部分があり、「やた」と身体が震えた。「まちづくり」は現在でもなお行政の仕事のなかで大きなテーマです。

教育委員会で私が担当した仕事のなかに、子供会やスポーツ少年団等の青少年団体への助成や町文化祭の開催がありました。いずれも地域で活動される方々と接することの出来る仕事でした。

楽しかったです。この仕事から、地域とは、そこに住んでいる人が創るものだということを私は実感し、自治体職員もこの方々と同じ思いを持つことが大切であるということを知りました。

なごみの里は、なかなか皆がひとつになてしまい、なかなか皆がひとつになてくれませんでした。

しかし、あれから3年。いまでは全スタッフが「共に生きる」という施設理念を意識しながら、スタッフ一人一人の個性や特性を活かして全てのご利用者様に寄り添い、それまで送って来られた暮らしを尊重し、お一人お一人にふさわしい安らぎと信頼ある環境作りに取り組みめるようになってきました。

今日、介護保険制度そのものが大きな課題を抱える中、サービスを提供する施設もサービスを受けるお年寄りの方々の現状も非常に厳しさを増してきました。また、そんな現状の中でいかに他施設にはない「なごみの里」らしさをお届けできるかは、非常に重要となってきています。しかし、その答えは遠くかけ離れたところにあるではありません。今出逢っているご利用者様お一人お一人にとって、

自分自身も地域住民の一人として地域活動に参加したいという気持ちから、私は青年団に加入し、活動しています。盆踊り大会を企画したり、地域の催しに参加するなど、人と人とのつながりを大切にする活動を進めています。そして、行事を終えて帰路に着く参加者の笑顔を見て、「よかった」と嬉しくなります。

こうした感動は、大学時代に所属していた演劇部で味わった「創る」という感動とどこかで重なっているように思います。あの感動をもつ度味わいたくてやっっているのかもしれない。

今年の4月からは、合併した真庭市の市民税課の職員として、仕事に取り組んでいます。これからどの部署に配属されたとしても、行政の立場から地域の人々の希望をサポートし、真庭市を市民に愛される郷土に育てるために、自分自身も地域の員であるという思いを持って仕事に取り組みたいと思っています。

なごみの里がいかに必要不可欠な存在になつていけるか、また、なごみの里と出会うたことがいかに「その方らしく生きていく力になつていくことができたか」にあるのです。そのために、まず援助者である私自身は施設理念を基調としながら、いかに自分らしさを発揮できるかを意識することが重要であると考えています。

私自身、相談員になりました。自分の経験のなさに悩み、自信のない日々を過ごしていました。もし私になかったら、もっといい援助方法があったのではないかと自責したこともあります。しかし、そういう時、いつも支えてくれたのが同じ相談員の上司でした。私の「経験」ではなく「感性」や「可能性」を大事にしてくれる上司がいたからこそ、どんな困難なケースにも「私らしく」挑んでいけるようになったと思います。

「人が人を育てる。人が人に報いる。」この限りなき運動を大切にしながら、これからも一つ一つの出会いを大切にしていきたいと思っています。

看護学部認可申請書受理される

関西福祉大学において、平成18年度に看護学部を開設すべく、鋭意準備を進めているところですが、6月末に文部科学省において認可申請書が受理され、11月末の正式認可に向けて、大きく歩みを進めることができました。



快適に学べる看護学部棟

現在建設中の看護学部新学舎は、研究や発表にも最適な講義室、少人数用のゼミ室、最新の設備を備えた実習室など、機能的で快適な学習環境を備えています。また、学生ラウンジや魅力的なウッドデッキなどもあり、コミュニケーションにも配慮した設計になっています。



平成18年度入試概要

社会福祉学部 社会福祉学科		11月日程小論文型	11月日程基礎学力型	12月日程基礎学力型
公募制推薦入試	募集人員	25名	25名	10名
	出願期間	平成17年10月24日(月)～11月7日(月) 消印有効	平成17年10月24日(月)～11月7日(月) 消印有効	平成17年11月21日(月)～11月29日(火) 消印有効
	試験日	平成17年11月12日(土)	平成17年11月13日(日)	平成17年12月4日(日)
	試験科目	小論文・面接	国語(現代文)基礎テスト・面接	国語(現代文)基礎テスト・面接
	試験会場	本学	本学	本学
	合格発表	平成17年11月19日(土)	平成17年11月19日(土)	平成17年12月10日(土)
一般入試	項目	前期日程		後期日程
		第1日程	第2日程	
	募集人員	80名		25名
	出願期間	郵送による出願：平成18年1月6日(金)～1月19日(木) 消印有効 窓口持参による出願：平成18年1月20日(金)10:00～17:00 当日のみ		平成18年2月20日(月)～2月28日(火) 消印有効
	試験日	平成18年1月26日(木)	平成18年1月29日(日)	平成18年3月6日(月)
	試験科目	英語・国語・世界史・日本史・数学の中から2科目選択		英語または国語の1科目選択
試験会場	試験会場	本学・名古屋・福井・大阪・和歌山・神戸・岡山・福山・高松 本学・東京・名古屋・京都・大阪・岡山・広島・松山・福岡		本学・名古屋・大阪・広島
	合格発表	平成18年2月5日(日)		平成18年3月14日(火)

※一般入試前期日程は、両日受験可能です。

看護学部 看護学科(予定) (平成18年4月設置認可申請中)

項目	区分	公募制推薦入試	一般入試前期日程	一般入試後期日程
募集人員		20名	35名	5名
出願期間		平成17年12月1日(木)～12月13日(火) 消印有効	郵送による出願：平成18年1月6日(金)～1月19日(木) 消印有効 窓口持参による出願：平成18年1月20日(金) 10:00～17:00 当日のみ	平成18年2月20日(月)～2月28日(火) 消印有効
試験日		平成17年12月18日(日)	第1日程 平成18年1月26日(木) 第2日程 平成18年1月29日(日)	平成18年3月6日(月)
試験科目		国語(現代文)基礎テスト・面接	英語・国語の中から1科目選択と数学・生物・化学の中から1科目選択合計2科目選択	英語・国語・数学の中から1科目選択
試験会場		本学	第1日程 本学・名古屋・福井・大阪・和歌山・神戸・岡山・福山・高松 第2日程 本学・東京・名古屋・京都・大阪・岡山・広島・松山・福岡	本学・名古屋・大阪・広島
合格発表		平成17年12月23日(金)	平成18年2月5日(日)	平成18年3月14日(火)

※看護学部入試概要については、正式には12月初旬発行予定の「平成18年度学生募集要項(看護学部)」で必ず確認してください。

※一般入試前期日程は、両日受験可能です。



平成17年度人事異動（採用・退職）

5月1日～9月30日

区 分	日 付	職 名	氏 名	区 分	日 付	職 名	氏 名
採 用	H17.5.1付	非常勤職員	山本 奈保	退 職	H17.5.31付	教 授	日下 知久
	H17.5.16付	事務職員(出向)	寺山 祐三			事務局長	永田 尚路
就 任	H17.6.1付	事務局長	小比賀恵一				



新刊紹介

書 名 とてもわかりやすい社会福祉の本
—目指す人へのメッセージ—

著 者 関西福祉大学 助教授 岩間文雄
西日本法規出版 定価 本体価格857円+税

本学の岩間文雄助教授による「とてもわかりやすい社会福祉の本—目指す人へのメッセージ—」が、西日本法規出版より出版されました。

これから社会福祉を学ぼうと思っているひとが、本当に知りたいことを分かりやすく説明しています。



原稿募集

- 校友会員の各種集い、部・サークルのOB会、ゼミ同窓会などの様子をお知らせください。
- 会員の皆様それぞれの仕事の内容や仕事上の悩み・喜びなど、400～600字の原稿をお寄せください。
- 校友会報に登場していただける校友を募っています。自薦、他薦を問いません。事務局までご連絡ください。
- 記事の雰囲気伝える写真、筆者の近影などがあれば添付してください。写真は発行後返却します。
- 原稿及び写真の採否は事務局に御一任ください。
- 原稿の加筆、修正、削除などをお願いする場合があります。
- その他、校友会へのご意見などもお寄せください。
- 校友ネットワークは、今号の執筆者に次号執筆者を紹介していただいております。

(事務局)

校友会会報 第6号

発 行 平成17年10月1日

発行所 関西福祉大学 校友会

発行者 和田武夫

編 集 校友会事務局

〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3

TEL 0791-46-2525 (大学代表)、0791-46-2847 (校友会事務局)

FAX 0791-46-2615

E-mail koyukai@kusw.ac.jp

http://www.kusw.ac.jp/(大学HP)

http://www.kusw.ac.jp/koyukai/index.html(校友会HP)

平成17年度

関西福祉大学校友会総会のご案内

平成17年度校友会総会を以下のとおり開催いたします。
当日は「汐風祭」も開催されます。是非、ご参加ください。

日 時 平成17年10月30日(日) 14:00～
場 所 118教室
議題(予定) 平成16年度事業報告・決算報告
平成17年度事業計画・予算 他

— 汐風祭 —

卒業生集まれ! 第2回ホームカミングデー開催!

日時: 平成17年10月29日(土)、30日(日)
10:00～(汐風祭開催イベントと並行実施)

厚生棟 喫茶ライム前にて受付

関福饅頭・模擬店金券・喫茶ライムコーヒー券をご用意してお待ちしています。

秋日和の1日を旧友誘いあわせて是非遊びに来てください。

校友会事務局内

関西福祉大学ホームカミングデー準備会

TEL 0791-46-2847(直)

関西福祉大学ひとくちメモ

開 学 平成9年(1997年)4月
学部学科 社会福祉学部 社会福祉学科(4コース)
学 長 和田武夫 農学博士
教 員 数 専任 38名
職 員 数 41名
学 生 数 1,195名
教員一人あたりの学生数 31.4名
奨学生数 446名(約37.3%)
卒業生数 5期累計 1,255名
社会福祉士合格者数 5期累計 377名
精神保健福祉士合格者数 5期累計 83名
敷 地 61,092㎡
延 床 13,643㎡



平成17年9月30日現在